

かほく

ワークシート

問題

- ①水門を保存することになったのはなぜですか。
- ②この水門のどこに「津波の破壊力」を感じますか。
- ③被災の水門を保存することに、どのような意義があるか、あなたの思うところを書きなさい。

(中学生／朝の会前10～15分)

今の中学生は、震災当時の記憶はあまりないようで、私たちも思い出すことが少なくなりました。だからこそ、震災の爪痕を残すものに触れ、私たちができることを考えていかなければなりません。それは、亡くなった方々への鎮魂にもつながると思うのです。

(日本新聞協会NIEアドバイザー・
仙台市高森中教諭 木下晴子)

出題者から

気仙沼・階上地区



気仙沼市が保存方針を固めた旧水門

東日本大震災で被災し、県が取り壊す予定だった気仙沼市階上地区にある旧水門を巡り、気仙沼市は6日までに、市が所有して保存するため、設備の所有権を移管するよう県に申し出る方針を決めた。津波の脅威を伝えようと、保存を求める地元の声に応じた。市は将来的には周囲に柵を設けるなどして、安全対策を講じる。ただ、同地区にある気仙沼向洋高校校舎と異なり、市の震災遺構としては整備しない。

「津波の破壊力 想起」

旧水門は、同市波路上杉ノ下の野田川河口にあり、高さ7・3メートル、幅7・3メートルで、2009年2月に建てられた。津波でステンレス製の扉が壊れ、門のコンクリート部分も一部壊れた。国が旧水門の内陸側に整備する防潮堤工事に合わせ、県は18年度中に新たな水門を作る計画。旧水門の撤去工事と合わせ、3月に業者を選ぶ入札を実施する予定だった。旧水門を撤去しなくても防潮堤工事などには影響しない。菅原茂市長は「津波の破壊力を想起させる。手は付けないつもり。費用はかからないだろう」と話した。

被災の水門 市保存へ